

mol/L 塩酸試液 1 mL を加え、振り混ぜた後、塩化鉄(III) 試液 1 滴を加えるとき、液は赤紫色を呈する。

(3) (2) のろ液はカルシウム塩の定性反応を呈する。

純度試験

(1) 重金属 本品を粉末とし、表示量に従い「パラアミノサリチル酸カルシウム」1.0 g に対応する量をとり、「パラアミノサリチル酸カルシウム」の純度試験(3)を準用する。

(2) ヒ素 本品を粉末とし、表示量に従い「パラアミノサリチル酸カルシウム」0.40 g に対応する量をとり、「パラアミノサリチル酸カルシウム」の純度試験(4)を準用する。

(3) 3-アミノフェノール 本品を粉末とし、表示量に従い「パラアミノサリチル酸カルシウム」0.10 g に対応する量をとり、「パラアミノサリチル酸カルシウム」の純度試験(5)を準用する。

定量法 本品を粉末とし、パラアミノサリチル酸カルシウム($C_{14}H_{10}Ca_2N_2O_6 \cdot 7H_2O$)約0.4 g に対応する量を精密に量り、水120 mL 及び希塩酸1.5 mL を加え、水浴上で加温して溶かし、冷後、水を加えて正確に200 mL とし、ろ過する。ろ液30 mL を正確に量り、ヨウ素瓶に入れ、以下「パラアミノサリチル酸カルシウム」の定量法(1)を準用する。

$$0.05 \text{ mol/L} \text{ 臭素液 } 1 \text{ mL} = 4.238 \text{ mg } C_{14}H_{10}Ca_2N_2O_6 \cdot 7H_2O$$

貯 法

保存条件 遮光して保存する。

容器 気密容器。

パラホルムアルデヒド

Paraformaldehyde

$(CH_2O)_n$

Poly(oxymethylene) [30525-89-4]

本品は定量するとき、ホルムアルデヒド(CH_2O : 30.03)95.0 % 以上を含む。

性 状 本品は白色の粉末で、わずかにホルムアルデヒド臭があり、加熱するとき、強い刺激性においを発する。

本品は水、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

本品は熱湯、熱希塩酸、水酸化ナトリウム試液又はアンモニア試液に溶ける。

本品は約100 °C で昇華する。

確認試験

(1) 本品0.1 g をアンモニア試液5 mL に溶かし、硝酸銀試液5 mL を加えて振り混ぜた後、水酸化ナトリウム溶液(1→10)3 mL を加えるとき、直ちに器壁に銀鏡を生じる。

(2) 本品0.02 g にサリチル酸0.04 g を硫酸5 mL に溶かした液を加え、徐々に加温するとき、液は持続する暗赤色を呈する。

純度試験

(1) 溶状 本品0.20 g をアンモニア試液10 mL に溶かすとき、液は無色澄明である。

(2) 液性 本品0.5 g に水10 mL を加えて1分間激しく振り混ぜ、ろ過するとき、液は中性である。

(3) 塩化物 本品1.5 g に水75 mL 及び炭酸ナトリウム試液7.5 mL を加えて溶かし、水浴上で加熱して蒸発乾固した後、約500 °C に強熱する。残留物を水15 mL に溶かし、必要ならばろ過し、薄めた硝酸(3→10)を加えて中性とし、希硝酸6 mL 及び水を加えて50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は0.01 mol/L 塩酸0.25 mL に炭酸ナトリウム試液7.5 mL、中性とするのに要した量の薄めた硝酸(3→10)、希硝酸6 mL 及び水を加えて50 mL とする(0.006 % 以下)。

(4) 硫酸塩 本品1.5 g に水45 mL 及び炭酸ナトリウム試液4.5 mL を加えて溶かし、水浴上で加熱して蒸発乾固した後、約500 °C に強熱する。残留物を水15 mL に溶かし、必要ならばろ過し、薄めた塩酸(3→5)を加えて中性とし、5分間煮沸する。冷後、希塩酸1 mL 及び水を加えて50 mL とする。これを検液とし、試験を行う。比較液は炭酸ナトリウム試液4.5 mL に中性とするのに要した量の薄めた塩酸(3→5)及び水15 mL を加えて5分間煮沸し、冷後、0.005 mol/L 硫酸0.35 mL、希塩酸1 mL 及び水を加えて50 mL とする(0.011 % 以下)。

強熱残分 0.10 % 以下(1 g)。

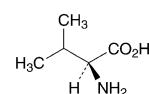
定量法 本品約0.05 g を精密に量り、ヨウ素瓶に入れ、水酸化カリウム試液10 mL に溶かし、水40 mL 及び正確に0.05 mol/L ヨウ素液50 mL を加えて密栓し、5分間放置する。次に希塩酸5 mL を加えて直ちに密栓し、15分間放置した後、過量のヨウ素を0.1 mol/L チオ硫酸ナトリウム液で滴定する(指示薬: デンブン試液1 mL)。同様の方法で空試験を行う。

$$0.05 \text{ mol/L} \text{ ヨウ素液 } 1 \text{ mL} = 1.5013 \text{ mg } CH_2O$$

貯 法 容 器 気密容器。

L-バリン

L-Valine



$C_6H_{11}NO_2 : 117.15$

(2S)-2-Amino-3-methylbutanoic acid [72-18-4]

本品を乾燥したものは定量するとき、L-バリン($C_6H_{11}NO_2$)98.5 %以上を含む。

性 状 本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味はわずかに甘いが、後に苦い。

本品はギ酸に溶けやすく、水にやや溶けやすく、エタノール(95)にほとんど溶けない。

本品は希塩酸に溶ける。

確認試験 本品を乾燥し、赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により試験を行い、本品のスペクトルと本品の